

# 早期体験実習(第1学年)

## Life Cycle Early Exposure

実習責任者：循環器内科 教授 明石 嘉浩

### 1. 実習概要・学習内容

早期体験実習は、本学の教育理念である「キリスト教的人類愛に根ざす生命の尊厳を基調とする医学教育の実践」を具現化することを大きな目標としている。

前期は大学病院内で見学実習を行う。医療の現場に内在する倫理的、社会的、医学的諸問題と直面し、医師に必要な人格形成の修練を自ら行っていくための動機づけを高めることを目標とする。

後期は学外施設で実習を行う。マタニティクリニック、幼稚園・保育園、診療所・クリニック、介護・福祉施設をローテーションし、人生の初期、転換期、晩年期のライフサイクルを学ぶとともに、地域における、医療・介護・福祉・保健に関心を持つことを目標とする。

また、実習を通して交流する相手を観察するだけでなく、自分自身の行動や感情を振り返ることで、コミュニケーションの方法を模索しながら、多職種間でより良い人間関係を構築し、将来医師として今後どうするべきかを自覚してほしい。

### 2. 到達目標

- 1)挨拶・自己紹介・社会的マナーの重要性を再認識する。
- 2)それぞれの実習の目的とスケジュールを理解する。
- 3)医学生に必要なコミュニケーション能力と人間関係の構築を習得する。
- 4)乳幼児・妊産婦及び高齢者に接する際の注意点を理解する。
- 5)医療と社会について知り、社会保障制度・福祉制度・保育制度について理解する。
- 6)相手の話に耳を傾け、相手の考えや気持ちを受け止めることの大切さを理解する。
- 7)相手を観察するのみでなく、自分自身の行動や感情にも目を向け、自分を振り返る。

### 3. 実習上の注意点

- ①各実習については、事前に配付する手引きや注意事項を読んで、実習内容とスケジュールを十分に確認しておくこと。
- ②集合時間等を確認し、時間を厳守すること。また提出物等の期限も同様である。
- ③医学部生としての自覚を持ち、相応しい服装・態度・マナーで実習に臨むこと。

#### 4. 教科書・参考書

教科書は指定しないが、書籍やインターネット等を用いて実習施設の特徴や問題点について可能な限り理解を深めておくこと。

#### 5. 成績評価

評価項目	実施回数	評価割合	備考
実習評価	-	70%	実習の欠席率に応じて減点する
レポート	-	30%	

※全ての実習内容に合格する必要がある。

#### 6. オフィスアワー

所属	役職	氏名	時間	場所	連絡先
内科学 循環器内科	教授	明石 嘉浩	水曜日 10時～12時 金曜日 16時～17時	医学部本館 3階 循環器内科医局	3313 (内線)